

本章では、本機とCubase LE 5を使った基本的な操作例を紹介します。

ここに書かれている内容は、Cubase LE 5の取扱説明書に代わるものではありません。また、Cubase LE 5は、Steinberg社より供給された製品のため、弊社ではサポート対象外となっております。

ご使用方法につきましては、Cubase LE 5のヘルプメニュー（PDFマニュアル）をご参照いただきますようお願い致します。

目次

本書の表記	1
商標に関して	1
Cubase LE 5のインストール	2
Cubase LE 5のアクティベーション方法	5
アクティベーション手順	5
Cubase LE 5を使った録音	9
準備	9
録音	12
ミックスダウン	12
トラブルシューティング	13

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- パソコンのディスプレイに表示される文字を《OK》のように《 》で括って表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性があります。場合に記載します。

商標に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Microsoft, Windows, Windows XP, Windows Vista, および Windows 7 は、米国 Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple, Macintosh, Mac OS および MacOS X は、Apple Inc. の商標です。
- CubaseとVSTは、Steinberg Media Technologies GmbH の登録商標です。ASIO はSteinberg Media Technologies GmbHの商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

Cubase LE 5のインストール

1. Cubase LE 5 DVD-ROMをパソコンにセットします。

インストール時の言語選択画面が表示されますので、お好みの言語を選択（国旗をクリック）してください。（以降は日本語を選択した場合の画面です。）

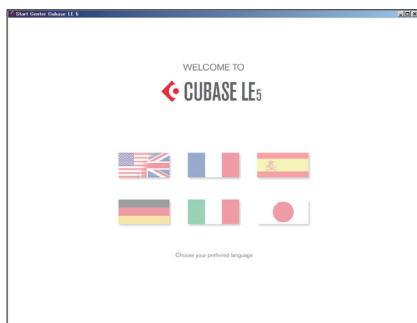
言語選択画面が表示されない場合は、

Windows :

DVD-ROM中の《Cubase LE 5 Start Center.exe》を実行してください。

Mac :

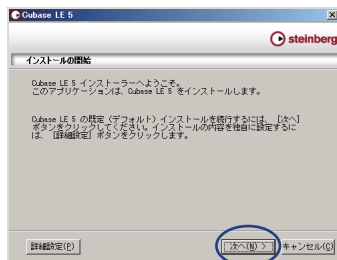
DVD-ROM中の《Cubase LE 5 Start Center》を実行してください。



2. インストールの開始画面が表示されます。
《CUBASE LE 5をインストールする》をクリックします。



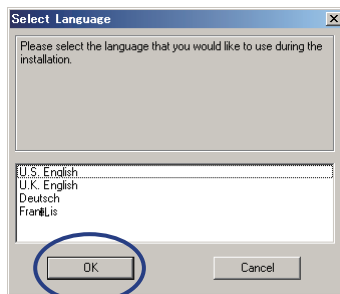
3. 以下の画面が表示されます。
《次へ》ボタンをクリックします。



4. eLicenserインストーラーが起動します。
インストール時の言語を選択して《OK》ボタンをクリックします。

メモ

この画面では、言語の選択肢に日本語がありません。以降は、“US English”を選択した場合の解説をします。

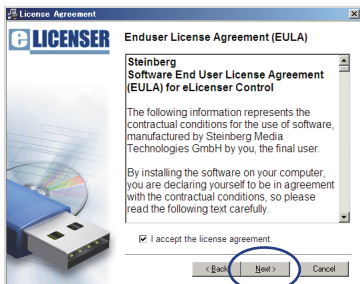


お使いのパソコンによっては、上記画面が別のウィンドウの背面に隠れている場合があります。その場合は、前面のウィンドウを移動してください。

5. eLicenserインストーラーの《Welcome》画面が表示されます。
《Next》ボタンをクリックします。



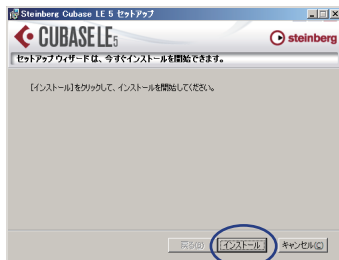
6. 《License Agreement》画面が表示されます。内容を確認の上、《I accept the license agreement》を選択して《Next》ボタンをクリックします。



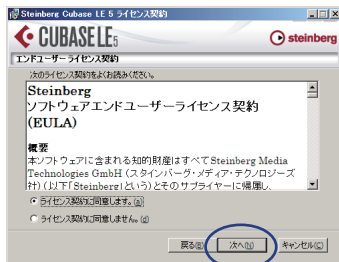
7. インストールの終了を確認する画面が表示されます。
《Finish》ボタンをクリックします。



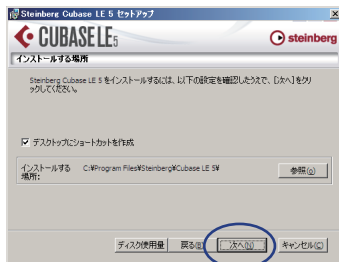
8. 続いて、自動的にCubase LE 5のインストールを開始します。
《インストール》ボタンをクリックします。



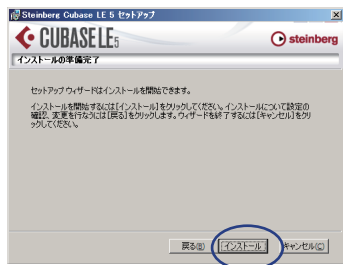
9. エンドユーザーライセンス契約画面が表示されます。内容を確認の上、《ライセンス契約に同意します。》を選択して《次へ》ボタンをクリックします。



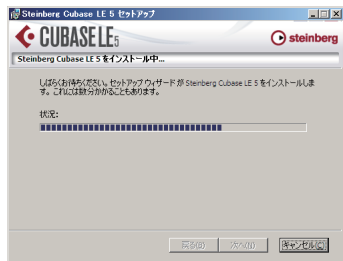
10. インストールする場所を選択する画面が表示されます。
インストールする場所を指定して、《次へ》ボタンをクリックします。



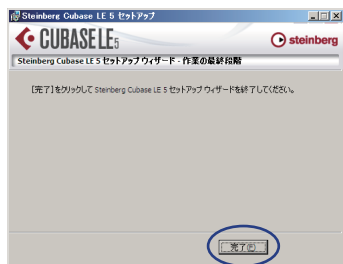
11. インストールの準備完了画面が表示されます。
《インストール》ボタンをクリックします。



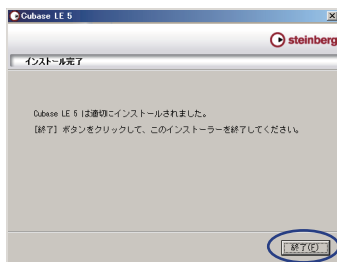
12. Cubase LE 5のインストールを開始します。



13. インストールが終了したら、《完了》ボタンをクリックしてインストールを終了します。



14. 以下の画面が表示されますので、《終了》ボタンをクリックしてインストーラーを終了させてください。



Cubase LE 5のアップデーターは、下記スタインバーク社のウェブサイトから、ダウンロード可能です。常に最新版をお使いになることをお勧めします。ページ内の注意事項をよくご確認の上、アップデートしてください。

<http://japan.steinberg.net/index.php?id=787&L=1>

Cubase LE 5の アクティベーション方法

Cubase LE 5は、30日間（もしくは3000回までの起動）使用できますが、この期間を過ぎると使用できません。長期的に使用する場合は、以下の手順でアクティベーションを行ってください。

メモ

Cubase LE 5を使用するためには、ユーザー登録のためのインターネット回線とeメール利用可能な環境が必要です。

アクティベーション手順

アクティベーションの手順については、以下のウェブサイトをご参照ください。

<http://www.steinberg.net/index.php?id=2806&L=2>

ここでは、Cubase LE 5のアクティベーション手順について説明します。

アクティベーション／登録の流れは、以下のようになります。

- Soft-eLicenser 番号を用意する。
- ↓
- MySteinberg のユーザーアカウントを作成する。
- ↓
- MySteinberg でアクティベーションコードを取得する。
- ↓
- Soft-eLicenser をアクティベートする。

1. 《eLicenser Control Center》を起動します。

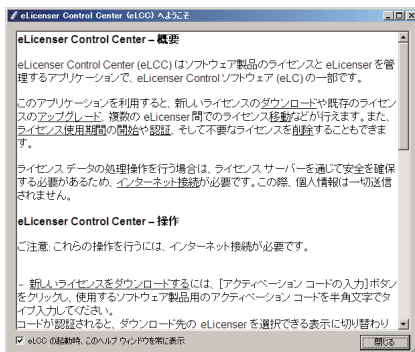
Windows :

《スタート》→《すべてのプログラム》→
《eLicenser》→《eLicenser Control Center》

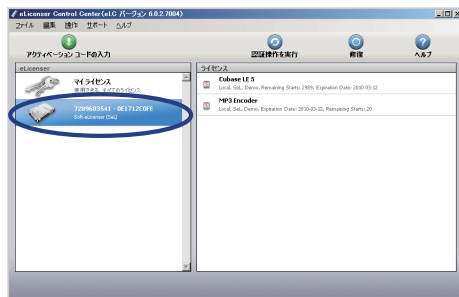
Mac OS X :

《アプリケーションフォルダ》

《eLicense Control Center》ウィンドウの手前に以下の画面が表示されますので、内容をご確認後、《閉じる》ボタンをクリックします。



2. 《eLicense Control Center》画面に表示されるCubase LE 5用の《eLicenser》ナンバーをメモしてください。



MySteinbergのアカウントをお持ちの方は9へ、お持ちでない方は以降のステップでアカウントを作成してください。

3. 次のウェブサイトアクセスしてください。

<https://www.steinberg.net/jp/mysteinberg.html>

このウェブサイトへのアクセスは、Cubase LE 5を起動し、《ヘルプ》メニューの《Registration》を選択することでも可能です。

4. 画面右下の《ユーザーアカウントを作成》をクリックします。



5. 《プルダウンメニュー》から国名を選択し、《次のステップ》をクリックします。



6. 次のステップでは、個人情報の入力を行います。画面内の《※》は、必須項目です。ユーザーネーム、パスワードは、忘れないように必ずメモしましょう。

すべて入力したら、《次のステップ》ボタンをクリックします。

入力内容に誤りがあると、警告が表示されます。画面の指示に従って入力し直してください。



7. 登録が完了すると、以下の画面が表示されます。



同時にメールにて登録通知が送られてきますので、内容をご確認ください。

以上で、MySteinbergのユーザー登録は完了です。続いて、Cubase LE 5のアクティベーションを行います。

8. MySteinbergサイトにアクセスします (<https://www.steinberg.net/jp/mysteinberg.html>)。入手したアカウントを使用してログインします。



9. ログイン後、会員メニューが表示されますので、《アクティベーションコードの発行／再発行》の《Cubase LE 5》をクリックします。



10. 次の画面で《アクティベーションコードの発行》の《こちらから》をクリックします。



11. 《eLicenser番号》欄に、先ほどメモした Cubase LE 5用のeLicenser番号を入力します。ハードウェアメーカーには《Tascam》を選択し、《アクティベーションコードをリクエストする。》をクリックします。

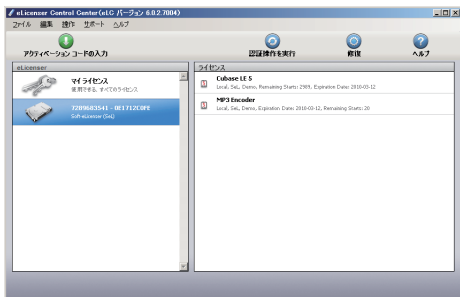


12. 登録が完了すると、アクティベーションコードが作成されます。

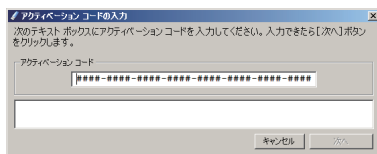


同時にメールでもお知らせが届きますのでご確認ください。

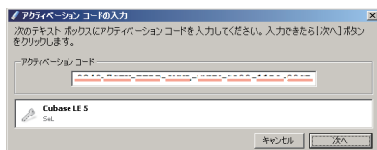
13. 再び《eLicenser Control Center》画面を表示します。このときCubase LE 5は、終了しておいてください。



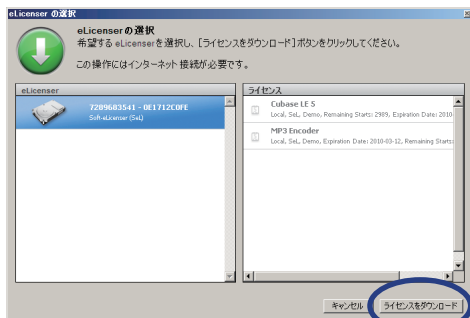
14. 画面左上の《アクティベーションコードの入力》をクリックします。
以下の画面が表示されます。



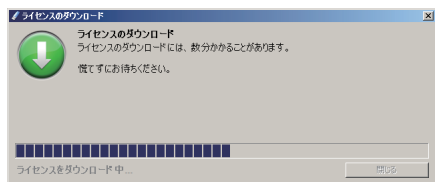
15. 先ほど (12.) で取得したアクティベーションコードを入力します。



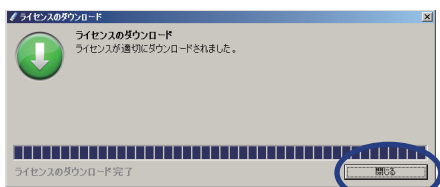
16. 《次へ》ボタンを押すと、《eLicenserの選択》画面が表示されます。
画面左のボックスで、Cubase LE 5用の《eLicenser》を選択し、画面右下の《ライセンスをダウンロード》をクリックします。



17. ライセンスのダウンロードが始まります。

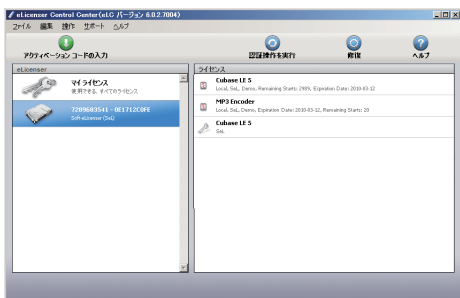


18. ライセンスのダウンロードが終了すると、以下の画面が表示されますので、《閉じる》ボタンをクリックします。



19. 以下の画面が表示されます。

画面右の《ライセンス》ボックス内に、鍵のマークが付いた《Cubase LE 5》が追加されていることをご確認ください。これでアクティベーションは完了です。



Cubase LE 5を駆動して動作を確認してください。

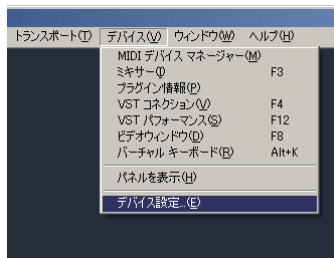
Cubase LE 5 を使った録音

Cubase LE 5はWindows XP、Windows Vista、Windows 7、Mac OS X とも、設定内容は同じです。

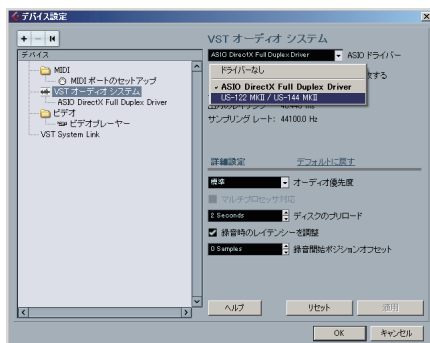
以下の画面は、Windows XP でUS-144MKIIを使用した場合の例です。

準備

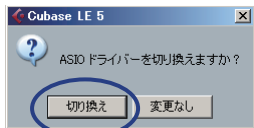
1. Cubase LE 5を起動し、《デバイス》メニューから《デバイスの設定...》を選択します。



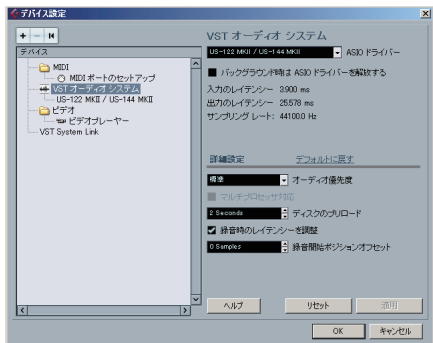
2. 《デバイス設定》画面の左側の《VSTオーディオシステム》をクリックし、右側の《ASIOドライバ》プルダウンメニューから《US-122MKII/US-144MKII》を選択します。



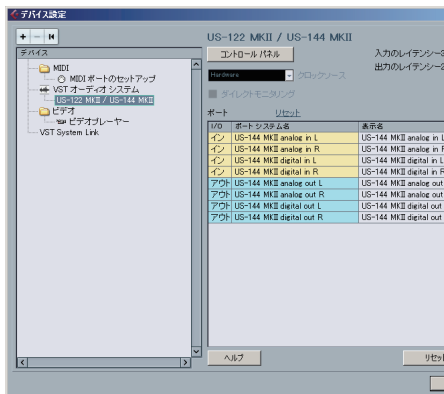
3. 以下のダイアログが表示されますので、《切り換え》ボタンをクリックします。



以下の画面が表示されます。



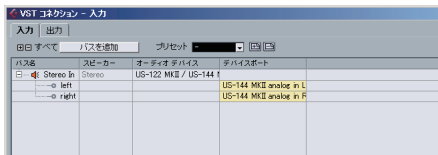
4. 《デバイス設定》画面の左側の《US-122MKII/US-144MKII》をクリックし、右側の《I/O》ポートがUS-144MKIIのポートになっていることを確認してください。確認後、《OK》ボタンをクリックします。



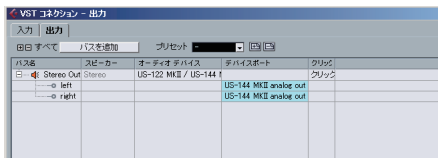
5. 《デバイス》メニューから《VSTコネクション》を選択します。

《入力》および《出力》タブのデバイスポートがUS-144MKIIになっていることを確認してください。

確認ができればダイアログを閉じます。



[入力タブ画面]



[出力タブ画面]

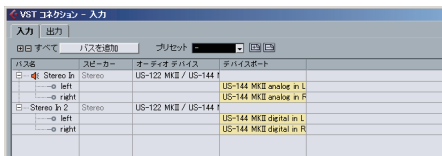
ヒント

US-144MKIIのデジタル入出力をCubase LE 5の入出力として使用する場合は、《VSTコネクション》ダイアログの入力タブおよび出力タブで、デジタル入出力を追加してください。

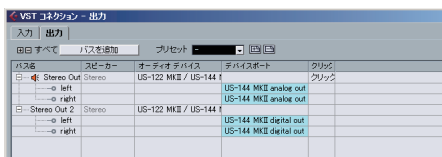
- 《バスを追加》ボタンをクリックします。
- 以下のダイアログが表示されますので、構成は《STEREO》、数は《1》に設定し、《OK》ボタンを押します。



表示内容が以下のようになり、デジタル入出力が使えるようになります。



[入カタブ画面]



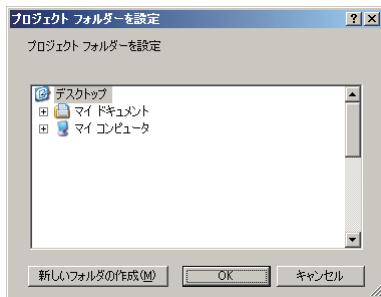
[出カタブ画面]

6. 《ファイル》メニューから《新規プロジェクト》を選択します。



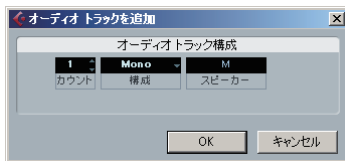
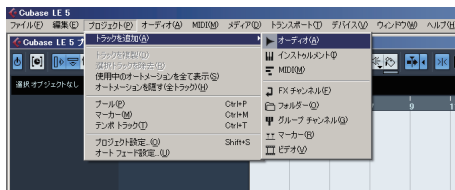
新規プロジェクトのテンプレートを選択するウィンドウが表示されますので、希望のテンプレートを選択し、《OK》ボタンをクリックします。

7. 次に《ディレクトリの選択》画面が表示されますので、保存先にするディレクトリを選択して《OK》ボタンをクリックすると、新規プロジェクトが作成されます。



メモ

テンプレートで《空白》を選択した場合、《プロジェクト》メニューの《トラックを追加》項目を使って、オーディオトラックを追加してください。



ヒント

ボーカルやアコースティックギターなどをマイク1本で録音する場合は、モノトラックを作成し、そこに録音します。

ピアノをマイク2本でステレオ録音したり、キーボードなどをステレオライン入力で録音する場合は、ステレオトラックを作成し、そこに録音します。

録音

1. 録音するトラックを選択し、画面左の《インプットのルーティング》フィールドで入力バスを選択します。



このとき、モニタリングオンボタンを押すと、入力をモニターすることができます。



2. すべてのトラックの入力バス選択が終わったら、録音を行うトラックの《録音可能》ボタンをクリックしてオン（赤く点灯）にします。



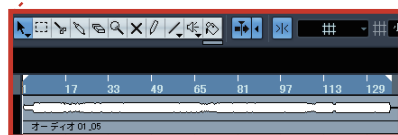
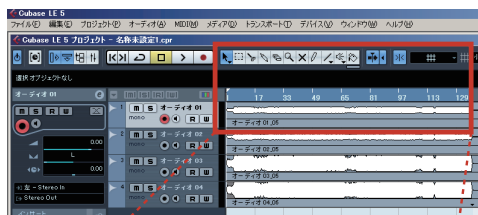
3. トランスポートの《録音》ボタンをクリックして録音を開始します。



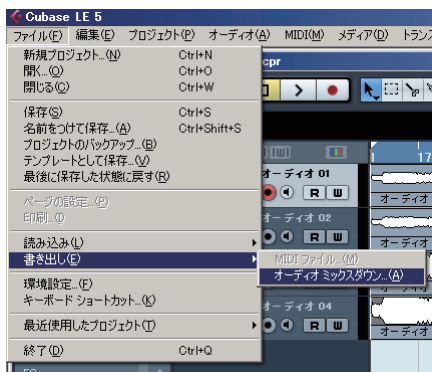
4. 録音が終了したら《停止》ボタンをクリックし、《録音可能》ボタンをクリックしてオフ（消灯）にします。
必要に応じて巻き戻しなどの操作を行います。
5. 上記の1.～4.を繰り返して音を重ねていきます。

ミックスダウン

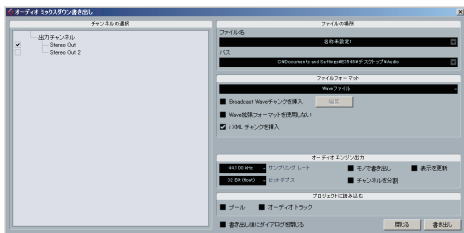
1. 左右のロケーターを動かして、ミックスダウンしたい範囲を指定します。



2. 《ファイル》メニューから、《書き出し》→《オーディオミックスダウン》を選択します。



3. 《オーディオミックスダウンの書き出し》画面の各項目を設定し、《書き出し》ボタンをクリックします。



この画面では、書き出すファイルのファイル名、保存場所、ファイルフォーマット、サンプリング周波数、量子化ビット数などを設定します。

4. 書き出し中は、以下の画面が表示されます。



書き出しが終わったら、《オーディオミックスダウンの書き出し》画面の《閉じる》ボタンをクリックして画面を閉じます。これで、ミックスダウンファイルが3.で設定した内容に従って書き出されました。

トラブルシューティング

本章では、Cubase LE 5を使った録音について、よくある質問とその回答を紹介します。

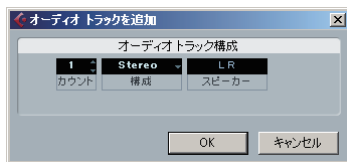
Q1: 入力の設定はすべて終わったのですが、オーディオトラックのメータが振れません。

A1: トラックのモニタリングオンボタンが押されていることを確認してください。



Q2: 2チャンネル同時にステレオ録音したいのですが？

A2: 録音するトラックがステレオであるかを確認し、録音するトラックを選んでください。ステレオトラックが存在しない場合は、《プロジェクト》メニューから《トラックを追加》→《オーディオ》を選択し、必要数のステレオトラックをご用意ください。

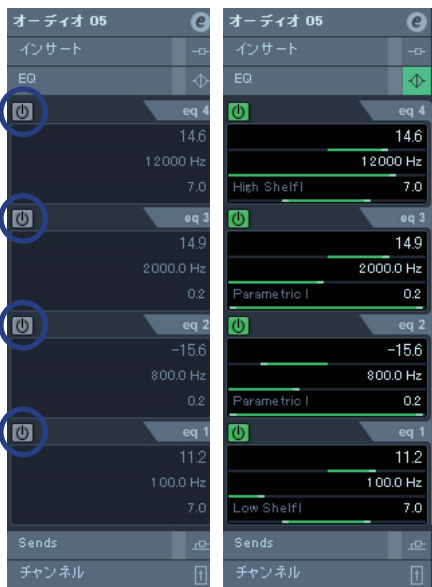


ステレオトラックの確認は、下図のようにチャンネル表示に《STEREO》の表示、および入力表示は《STEREO In》等の表示となります。



Q3: EQを使用したいのですが、効果がありません。

A3: VSTチャンネル設定等で、EQスイッチがオフになっているかどうか確認してください。



[EQ オフ]

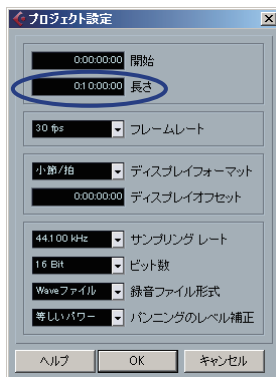
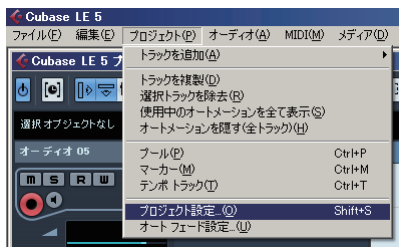
[EQ オン]

Q4: 3分位の曲をミックスダウンしてみたのですが、10秒程度しかできません。

A4: 左右のロケータ範囲が、3分以上になっていることをご確認ください。

Q5: ロケータ範囲が、10分以上設定できません。

A5: デフォルトは、10分の設定になっています。《プロジェクト》メニューから《プロジェクトの設定》を選択し、《プロジェクトの設定》画面内の《長さ》を調整してください。

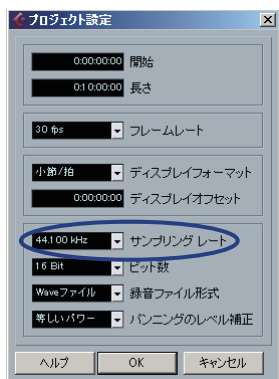


Q6：ミックスダウンしたWAVファイルをCD化しましたが、明らかにスピードが違います。

A6：プロジェクト設定が、48kHzの設定になっていないでしょうか？

最終的にCD作成が目的であるならば、あらかじめ44.1kHzでの作業をお勧めいたします。

設定方法は、《プロジェクト》メニューから《プロジェクトの設定》を選択し、《サンプリングレート》を《44,100Hz》に設定してください。



Q7：入出力機器（楽器、マイク、モニターシステムなど）を接続したのですが何も聞こえません。

A7：オーディオインターフェースの入力レベルが上がっていることを確認してください。

入力がアナログの場合は、信号が入力されるとシグナルインジケーターが点灯します。モニター（またはヘッドホン）のレベルが上がっていること、正しく接続されていることを確認してください。

Q8：音が歪んで聞こえます。

A8：信号がオーバーロードしていないかどうか確認してください。

アナログ入力信号の場合は、オーバーロードインジケーターが時々赤色に点灯する程度が適正レベルです。

Memo
